2026年11月6日

各　位

会 社 名　株式会社　セカンドリテイリング
代表者名　代表取締役社長執行役員 遠藤　結蔵
(コード:2681 東証プライム 名証プレミア)
問合せ先　執　行　役　員
グローバル財務戦略部　梶田　義章
ゼネラルマネージャー
(TEL 052-350-5711)

通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、2027年3月期(2026年4月1日～2027年3月31日)の通期連結業績予想について、下記のとおり決議いたしましたのでお知らせいたします。

1. 業績予想の修正

(1)2027年3月期　通期連結業績予想の修正(2026年4月1日～2027年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円　銭
前回発表予想(A)	510,000	13,000	12,500	6,000	150.90
今回修正予想(B)	510,000	17,000	16,500	8,200	206.12
増減額　(B－A)	0	4,000	4,000	2,200	－
増減率　(%)	－	30.8	32.0	36.7	－
前期(2026年3月期)実績	481,249	14,239	15,348	8,738	219.77

(2)修正の理由

2026年5月8日に公表いたしました2027年3月期の通期連結業績予想につきましては、当中間連結会計期間における業績動向および足元の事業環境を踏まえ、売上高の予想を据え置くとともに、営業利益、経常利益ならびに親会社株主に帰属する当期純利益の予想をそれぞれ上方修正することといたしました。

当中間連結会計期間におきましては、「Nintendo Switch 2」における価格改定前の駆け込み需要に伴う反動減があったものの、積極的なプロモーション施策が奏功したセカンドストリート事業のリユース衣料・服飾雑貨や、ラグジュアリー事業が牽引し、売上高は堅調に推移いたしました。

また、利益面につきましては、リユース衣料・服飾雑貨の販売伸長に加え、ゲオ事業におけるリユーススマートフォンの価格体系の適正化等により、営業利益、経常利益ならびに親会社株主に帰属する当期純利益の各段階利益は期初予想を上回る進捗となりました。

リユース需要は今後も底堅く推移することを見込むものの、免税制度の動向(リファンド方式への移行)や暖冬懸念、システムセキュリティ強化および安全対策への対応をはじめとする事業環境の先行きを慎重に考慮した結果、売上高の通期予想は期初公表数値を据え置き、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益の各段階利益の通期予想は上方修正いたしました。

以上